

# 森林塾青水

## 第16回 定期総会

1. 日時 2017年4月15日(土曜日)  
13時00分 ~ 14時15分
2. 場所 環境パートナーシップ セミナースペース
3. 議題 第1号議案 2016年度事業報告及び事業収支  
第2号議案 2017年度事業計画及び事業収支予算案  
第3号議案 2017年度役員選任



2017年4月15日  
森林塾青水

# 第1号議案 2016年度事業報告 および 会計収支

## 1. 2016年度事業報告

### (1) 総括

基本的な活動が、着実に行われたことに加え、前年度総会での反省点への対応、2016年度重点取り組みが実施された。

前年度総会での「反省点」への対応

- ・ (去年の反省)既存会員参加者はやや固定気味。利根沼田地区群馬県内参加者が少ない。  
→ 新しい会員たちの活発な参加もあり活動層が広がった。また、群馬県森林ボランティア支援センターとの連携活動が奏功し、利根沼田地区からの参加者も見られるようになった
- ・ (去年の反省)地元NPOの協力関係、地域行事とのコラボが不十分。  
→ 地元NPOのラインアップ強化に伴い、炭焼などNPO主導の活動や協働場面が増えた。また、定例活動での諏訪神社大祭参加が実現した。
- ・ (去年の反省)流域協議会が開催できず、流域コモンズの理念的活動が消化不良  
→ 呼びかけたが地元の反応も低く、カウンターパートが明確でない。また、相方の組織的対応に余力がなく、ケースごと個別の対応に終始。

「2016年度重点取り組み」の実現状況

- ・ NPO法人奥利根水源地域ネットワークとの連携を強め、藤原地区の行事や地域との交流プログラムを実施します。  
→ 炭焼き用丸太の伐採・搬出、諏訪神社大祭参加 水上茶道会による点前 お散歩マルシェ協力など。
- ・ 上ノ原の茅場再生活動とともに自然・森林・生き物を楽しむプログラムを実施します。  
→ 山菜料理、木馬道の再生、燻製作りなど新しい企画が実現した。
- ・ 草原再生活動等を行う他地域の団体との交流を図ります  
→ 草原再生ネットの10周年記念シンポジウムの運営を支援、また流域連携活動として、日光の茅場訪問、小貝川・菅生沼の野焼参加を行った。
- ・ 車座講座を実施して参加付加価値を付けます。  
→ 2年目となり、地元講師、首都圏参加者双方からの評判も良く、定着してきた。

### 新しい試みと成果

- ① 雪がない状況下での野焼きを実施。地元消防団の全面的な協力にも支えられ、二重、三重の安全策の有効性をアピールすることができ、今後の野焼へのノウハウが蓄積された。
- ② 茅スグリの実施と、茅買い取り代金の増額。ボランティアの刈った茅の品質を高めるべく、茅スグリ作業を活動に組み入れた。
- ③ 茅の高品質化をアピールすることにより、受け入れ先の町田工業さんの茅買い取り代金の値上げにご理解をいただくことができた。地元茅刈衆分 500円→600円、ボランティア刈分 0円→300円
- ④ 木馬道再生、ミズナラ林の抜き伐り(若返り)、炭焼の支援(地元のエコツアー)と結び付けることができた。
- ⑤ 定例プログラムに諏訪神社大祭見学を取り入れ、地元の文化に触れる機会を塾として実施。
- ⑥ 近隣のボランティア団体との交流を定例プログラムに組み込むことができた。

### 物足りなかった点、課題

- ① 地元担い手の高齢化対策。茅刈り衆は消滅の危機にあり活動の根幹にかかわる問題だが有効な対策が定まっていない。
- ② この解決策の一つとして考えられる地元への活動引継ぎのロードマップができていない。
- ③ 高齢者の新入会が多いこともあり相対的に高齢化。若者にとって魅力のある会になっていない。
- ④ 役場や地元とのコミュニケーションが不足、野焼きをはじめ活動に対する十分な理解を得られていない。
- ⑤ エコパーク構想、ヘルスツーリズム、など地元のニーズにどう応えられるか、絵が描けていない。

(参考データ)

一般参加歓迎プログラム参加人数(地元協力者は含まず)

	①野焼き・山之口開き	②山菜とブナ新緑散策	③防火帯整備夏の草花調査	④諏訪神社大祭	⑤ミズナラ林整備	⑥茅刈	⑦茅ポッチ搬出	⑧雪原散策と茅スグリ
参加者	26	13	11	7	15	22	13	13
前年	45	13	12	12	12	27	14	20

注: \*印は無料バス運行

茅刈実績

実施年度	2016	2015	2014	2013	2012	2011	2010
刈り取った茅	4480	5550	3555	3010	2565	4890	2300
うちボランティア	615	490	400	260	275	600	350
うち地元	3865	5060	3135	2750	2290	4290	1950
*環境保全作業協力金	定額 40,000	126,500	100,960	137,500	114,500	214,500	—

\* 茅の買い取り価格(町田工業)一束100円に当塾が上乘せするもの。  
従来「環境支払い」としていたが、内容に即して名称変更(予算額上限あり)

3月末現在会員数: 正会員58名 家族会員7名(休眠会員を除く) 賛助会員8社  
うち2016年度新規加入 3名(個人2 家族1)

## (2)各月の活動記録

2016年

- 4月
- ・ 総会、総会後のセミナー開催「森を伐ったら草原に戻るのか?上ノ原でわかった事とこれから」実施、講師は増井太樹会員。
  - ・ 一般参加歓迎プログラム①「茅場野焼きと早春の里山散策」実施。首都圏から26名が参加。少雪のため雪がない環境下ではあったが、消防団の全面的な協力を得て、安全に実施できた。
- 5月
- ・ 千葉県柏市の麗澤中学校生徒を対象に樹木観察会を実施。139名の新1年生に自然とのふれあい、気づきの大切さをレクチャー。
  - ・ 一般参加歓迎プログラム②「藤原の山菜&ブナ新緑の森」実施。13名参加。昨年から試行していた茅株の移植を、20株実施。
  - ・ 群馬県花と緑のクリーン作戦協力の一環として、県道の側溝掃除、草刈を実施。(以後、これも含め合計3回実施)
  - ・ 川場村の世田谷区友好の森で開催された群馬県植樹祭へ、塾長出席。
  - ・ 茅風第48号発行
- 6月
- ・ 昆虫調査、会員2名および外部専門家(プレック山崎氏)にて実施。
  - ・ 流域連携活動として「土呂部草原の電柵補修と自然観察会(日光茅ポッチの会訪問)」実施。募集人員上限の12名参加。日光土呂部(とろぶ)にて獣除けフェンス周辺および遊歩道の草刈、侵入木の排除作業に協力。
  - ・ 全国草原再生ネットワーク設立10周年シンポジウム(於朝日新聞東京本社読者ホール)に、会員計9名が出席するとともに運営を支援。西村幹事が青水の活動をプレゼンテーションした。塾長他は翌日の総会にも出席。
  - ・ 三重大学名誉教授三井昭二氏が総理府主催の第10回みどりの学術賞受賞記念の講演「森林と社会の歴史と可能性」の中で、青水の活動を新しい「コモンズ」として写真入りで紹介くださった。
- 7月
- ・ 一般参加歓迎プログラム③「防火帯刈払い&生き物撮影会」実施。11名参加。
  - ・ 群馬県森林ボランティアセンターにて、塾を紹介。草野塾長がプレゼンテーション。
- 8月
- ・ 昆虫調査、会員2名および外部専門家1名にて実施。
  - ・ 一般参加歓迎プログラム④「藤原諏訪神社例大祭と草餅づくり」実施。7名参加。
- 9月
- ・ 茅風第49号発行
  - ・ 一般参加プログラム⑤「ミズナラ林の若返り伐採・木馬道再生」実施。15名参加。首都圏勢に加え沼田や魚沼など近隣から5名の参加あり。木馬道は10メートルの目標を超える50メートルを敷設し、試滑走も実施。交流会では、「車座講座」として元猟師の方から熊うちなどのお話を伺う。また、二日目早朝に県道の側溝掃除を実施(本年度3回目)。

- 10月
  - ・ 兵庫県上山高原にて第11回全国草原再生サミット・シンポジウムが開催され、幹事2名が参
  - ・ 麗澤フィールドワークにインストラクターとして参加。生徒139名に、フィールドや周辺をガイドするとともに茅刈や、茅を使った工作など指導。
  - ・ 一般参加歓迎プログラム「錦秋の茅場で茅刈・ポッチづくり」実施。首都圏からの22人に地元勢を加え、総勢32名で100ポッチ弱の成果。車座講座では、みなかみのエコパーク構想について、みなかみ町エコパーク推進室小池俊弘氏より熱い思いをお聞かせいただく。また、上ノ原の空撮動画や地元の写真家夏目氏になる地元紹介ビデオを観賞。
- 11月
  - ・ 上ノ原の中央部を通過する県による林道手小屋線の改良工事終了。
  - ・ 一般参加歓迎プログラム「茅ポッチ運びだしと山之口終い」実施。首都圏13名に地元を加え総勢19名で約4000ポッチ運びだし。
- 12月
  - ・ セブン-イレブン記念財団の季刊誌『みどりの風』2016年冬号の「ただいま活動中」に、青水の活動が見開き2ページで紹介される。
  - ・ 第1回東京楽習会実施。「千年の森をつくる生き方」と題して、えひめ千年の森をつくる会会長鶴見氏の講演を拝聴。参加者15名。
  - ・ 茅風50号発行

## 2017年

- 1月
  - ・ 地域連携プログラム 小貝川、菅生沼の野焼に、延べ10名参加。
- 2月
  - ・ NHK小さな旅に、藤原の冬の暮らしがとりあげられ、地元協力者の阿部惣一郎さんや北山塾頭が出演、2月5日に放映された。
  - ・ イオン財団の2017年度助成金決定。
  - ・ 環境省の発行する「平成28年度生態系サービスを活用した自然再生に関する事例集」に2ページ掲載。(配布先は環境省、関係先のみ)
  - ・ イオンの第26回環境活動助成先公募の採択団体を日経(2月4日朝)、読売(5日朝)、イオンのニュースリリース(3日)、イオン各店舗ポスター(8日から)にて紹介。
  - ・ 国立科学博物館「やさしい生態学講座」にて西廣先生が講演。「ほどほどの保全」の好例としてトップに青水の活動を紹介くださった。
- 3月
  - ・ 定例活動一般参加歓迎プログラム⑦「地域イベント キャンドルナイト参加雪原カンジキトレッキング・茅スグリ」実施。14名が参加。
  - ・ 昨12月の楽習会の縁で「えひめ千年の森をつくる会」の鶴見会長より、3月18日～20日の三連休中に開催される「炭焼き講座」のご案内をいただき、4名参加。
  - ・ 早稲田大学で開かれた第64回日本生態学会大会の自由集會に北山塾頭が参加、塾活動を紹介。

このほかホームページ、ブログを随時更新

第1号議案 2016年度事業報告 および 事業収支

2. 2016年度事業収支

収 入			支 出		
項 目	計 画	実 績	項 目	計 画	実 績
前年度繰越金	676,418	676,418	事業経費	1,637,320	1,516,559
会費・入会金	388,000	356,000	一般参加歓迎プログラム	229,870	150,214
正会員会費	300,000	265,000	(資材消耗品等費用)	72,450	19,645
家族会員会費	9,000	5,000	(輸送関係費用)	6,170	19,000
協賛会員会費	70,000	80,000	(懇親会費)	140,000	104,819
新規会員入会金	9,000	6,000	(ボランティア保険)	11,250	6,750
			環境教育諸費用	370,000	368,019
			(スタッフ手当)	110,000	135,000
事業収入	699,000	748,600	(コーディネート料)	22,000	19,000
一般参加歓迎プログラム	300,000	312,100	(資材消耗品費)	10,000	14,464
環境教育受託料	374,000	378,000	(地元講師・協力者謝礼)	120,000	90,000
(麗澤FW受託費)	278,000	276,000	(出張旅費)	108,000	109,555
(麗澤観察会受託費)	96,000	102,000	東京楽習会	10,000	10,000
物品等売上	5,000		(楽習会謝礼・諸経費)	10,000	10,000
講演料	20,000	21,600	東京ガス助成事業	520,000	491,453
茅売上金		36,900	(旅費交通費)	80,000	71,060
			(現地指導者謝金))	70,000	70,000
			(レンタカー費)	180,000	180,500
助成金	1,069,450	1,069,450	(消耗品費・材料費)	170,000	156,256
ぐんまグリーン大作戦	20,000	20,000	(その他事務管理費)	20,000	13,637
みなかみ町昆虫等保護	30,000	30,000			
東京ガス	520,000	520,000	セブンイレブン助成事業	499,450	496,873
セブンイレブン財団	499,450	499,450	(備品・消耗品費)	106,300	106,339
			(レンタカー費)	263,830	260,835
			(旅費交通費)	65,320	62,779
			(通信費)	9,000	8,820
エコポイント	8,000	14,458	(講師謝礼)	30,000	30,000
復興住宅エコポイント	3,000	14,458	(保険料)	25,000	28,100
木材エコポイント	5,000		エコポイント交通費補助	8,000	
			活動支援・調査費用	173,680	125,666
			出張旅費(交通・宿泊)	46,680	27,510
その他収入	550	34,007	図書費	6,000	3,996
寄付金		34,000	資料・チラシ作成・郵送費	11,000	14,160
受取利息		7	地元会費・区費・寄付	60,000	70,000
その他	550		環境保全作業協力金	50,000	10,000
			事務所経費その他	324,000	304,803
			設備備品消耗品費	53,000	42,162
			印刷費	35,000	33,377
			郵便・通信費	31,000	42,055
			レンタルサーバー費	18,000	17,496
			会議費(レンタル費他)	75,000	59,951
			振込・払込手数料	15,000	14,832
			保険料	37,000	34,930
			賃借料	60,000	60,000
			予備費	30,000	0
(単年度収入)	2,165,000	2,222,515	(単年度支出)	2,165,000	1,947,028
			次年度繰越(残高)	676,418	951,905
合 計	2,841,418	2,898,933	合 計	2,841,418	2,898,933

2016年度新規会員(入会日順、敬称略)

- ①増井和沙(家族会員)
- ②上野知子(正会員)
- ②美坂章子(正会員)

2017年3月31日現在会員数( )数字は前年度末会員

- 80 } 正会員 58人 (59)
- (81) } 家族会員 7人 (6)
- } 賛助会員 8社 (9)

第2号議案 2016年度事業計画及び予算案

2017年度事業計画(案)

1. 2017年度事業計画

- ・都市、地元、利根川流域の住民が**飲水思源の志**でつながり、楽しみながら汗を流す。
- ・**人と自然のほどよい関係で**、生き物たちでにぎわう上ノ原の「入会の森(茅場・ミズナラ林)」を管理・利用する仕組みを築く。

■基本方針

- ・「自然の恵みを持続的に利用する仕組み」の構築、維持に取り組んで参ります。
- ・上ノ原「入会の森」の茅草原、ミズナラ林のほどほどの保全と活用を図り、次世代につなげます。

■2017年度の重点取り組み

- ・上ノ原の茅場再生活動とともに自然・森林・生き物を楽しむプログラムを実施します。
- ・上ノ原のミズナラ林資源を使った自伐型林業などのNPO法人奥利根水源地域ネットワークの活動を支援してミズナラ林の若返りを図ります。
- ・茅束や薪・炭販売の売上金を原資に地域通貨として参加者に還元する仕組みを試行します。(通貨名称:ポッチ)
- ・草原再生活動等を行う他地域の団体との交流や他の地域の自然に触れる機会を継続します。
- ・活動参加に付加価値をつける車座講座などを継続します。

2. 2017年度年間行事予定(案)

月	実施日	実施事項	実施内容
4	15	総会・セミナー	セミナー: 過疎の村と東京二拠点移住の可能性
	29, 30	①野焼き 山の口開き(予備日なし)	1日目 山の口開き、防火帯整備作業、地元交流会
5	20	麗澤中学校樹木観察会(下見5月13日(土))	校庭の樹木を題材に中学生に奥利根水源の森林FWにむけた自然観察の意識付け
	4/29~5/7	地域イベント: 藤原春のお散歩マルシェ	野焼日程で参加、その他会員に案内
6	24, 25	③ミズナラ林の若返り(自伐型林業体験)	薪炭材の伐採・搬出、天然更新作業 木馬道再生
	27, 28	②藤原の山菜を楽しむ	山菜採取、調理、茅株移植同時実施
7	22, 23 未定	④防火帯刈り払い、木馬道再生 第1回学習会	防火帯刈り払い、木馬道延長(予備)
8	未定	⑤藤原の地域行事と地域活動地訪問 (諏訪神社大祭が9月の場合は9月実施)	諏訪神社例大祭、赤谷プロジェクト訪問 8月17日、9月9日(ともに仮置き)
9	16(未定) 30, 10.1	第2回学習会 ⑥日光茅ポッチ会との連携プログラム	茅ポッチづくり
10	21, 22	⑦茅刈	茅刈、茅スグリ 秋のお散歩マルシェ参加、地域通貨試行
	25~27 21~31	麗澤中奥利根水源の森フィールドワーク 地元による茅刈	茅刈・森林散策・茅編み 茅刈衆による茅刈、環境保全作業協力金
11	18, 19	⑧茅出し・山の口終い	茅搬出、山の口終い行事、炭焼き体験
12	16(未定)	第3回学習会	
1	20, 21	第4回学習会(野外)兼流域連携活動 小貝川、菅生沼の野焼	小貝川、菅生沼での野焼き参加
2	未定	流域連携活動: 理窓自然公園	理科大野田キャンパスでの湿地保全活動
3	10, 11	⑨茅スグリ・雪原カンジキ体験 ・キャンドルナイト	茅スグリ、雪原カンジキ体験・かまくら設営
		随時活動 車座講座の実施 上ノ原の生き物などの記録 生き物調査 外来種駆除 地域貢献活動 幹事会(毎月第3火曜日)	「藤原の風景を俳句に詠む」など 昆虫、動植物、風景など記録写真撮影 研究者・専門家による調査を支援 定例活動など気づき時に実施 古民家利用・古道整備、県道の側溝整備など
		摘要	・茅刈り新規参入者対策: 具体的に指名して勧誘 ・①②・・・は定例活動一般参加歓迎プログラム

## 2. 2017年度事業収支予算案

収 入			支 出		
項 目	前年度実績	計画	項 目	前年度実績	計画
<b>前年度繰越金</b>	<b>676,418</b>	<b>951,905</b>	<b>事業経費</b>	<b>1,516,559</b>	<b>1,395,124</b>
<b>会費・入会金</b>	<b>356,000</b>	<b>399,000</b>	一般参加歓迎プログラム	150,214	185,000
正会員会費	265,000	300,000	(設備備品費)	19,645	10,000
家族会員会費	5,000	7,000	(資材消耗品費他)	0	10,000
協賛会員会費	80,000	80,000	(レンタカー費用)	19,000	20,000
新規会員入会金	6,000	12,000	(スタッフ高速・ガソリン)	0	20,000
			(自家用車提供謝礼)	0	10,000
			(現地協力者謝金)	0	10,000
			(懇親会費用)	104,819	100,000
<b>事業収入</b>	<b>748,600</b>	<b>731,000</b>	(ボランティア保険)	6,750	5,000
一般参加歓迎プログラム	312,100	300,000	<b>環境教育受託事業</b>	<b>368,019</b>	<b>369,000</b>
環境教育受託料	378,000	376,000	(資材消耗品費他)	14,464	13,000
(麗澤FW委託費)	276,000	280,000	(レンタカー費用)	22,688	22,000
(麗澤観察会委託費)	102,000	96,000	(スタッフ高速・ガソリン費)	17,967	17,000
茅・物品等売上	36,900	45,000	(交通機関交通費)	6,000	6,000
講演料・原稿料	21,600	10,000	(宿泊費)	62,900	63,000
			(現地協力者謝金)	90,000	100,000
			(スタッフ手当)	135,000	128,000
			(コーディネート料)	19,000	20,000
<b>助成金</b>	<b>1,069,450</b>	<b>850,000</b>	<b>東京楽習会</b>	<b>10,000</b>	<b>10,000</b>
ぐんまグリーン大作戦	20,000	20,000	(楽習会講師謝礼)	10,000	10,000
みなかみ町昆虫等保護	30,000	30,000	(楽習会諸雑費)	0	0
財団等民間	1,019,450	800,000	<b>助成事業</b>	<b>988,326</b>	<b>831,124</b>
(うち イオン環境財団)		800,000	東京ガス助成事業	491,453	28,547
(うち その他) 注	1,019,450		セブンイレブン助成事業	496,873	2,577
			イオン助成事業		800,000
			<b>活動支援・調査費用</b>	<b>125,666</b>	<b>165,000</b>
<b>エコポイント</b>	<b>14,458</b>	<b>5,000</b>	出張旅費(交通・宿泊)	27,510	30,000
復興住宅エコポイント	14,458	5,000	図書費	3,996	5,000
木材エコポイント	0	0	資料チラシ等郵送費	14,160	10,000
			スタッフ高速・ガソリン費		10,000
			地元会費・区費・寄附	70,000	60,000
			環境保全作業協力金	10,000	10,000
			環境保全協力地域通貨		40,000
<b>その他収入</b>	<b>34,007</b>	<b>0</b>	<b>事務所経費その他</b>	<b>304,803</b>	<b>318,000</b>
寄付金	34,000		設備備品費	42,162	40,000
預金利息	7		文具消耗品費他	0	5,000
その他			印刷費	33,377	35,000
			郵便料・通信費	42,055	40,000
			レンタルサーバー費	17,496	18,000
			会議室レンタル費	59,951	60,000
			その他会議費	0	10,000
			振込・払込手数料	14,832	15,000
			保険料	34,930	35,000
			賃借料	60,000	60,000
			<b>予備費</b>	<b>0</b>	<b>30,000</b>
<b>(単年度収入)</b>	<b>2,222,515</b>	<b>1,985,000</b>	<b>(単年度支出)</b>	<b>1,947,028</b>	<b>1,908,124</b>
			<b>次年度繰越(残高)</b>		<b>1,028,781</b>
<b>合 計</b>	<b>2,898,933</b>	<b>2,936,905</b>	<b>合 計</b>		<b>2,936,905</b>

注:2016年度はイオン環境財団、東京ガス環境応援基金、2017年度はイオン環境財団より助成していただいています。



### 第3号議案 2017年度役員選任

#### 1. 役員候補 (あいうえお順)

浅川 潔	稲 貴夫	岡田伊佐子	北山郁人	草野 洋	西村大志
林部良治 (新任)	増井太樹 該当なし	松澤英喜	吉野一幸	米山正寛	

#### 2. 退任役員

高野史郎(顧問に就任)

#### 3. 2017年度執行体制(案)

塾長	草野 洋	全般統轄				
塾頭	北山郁人	全般統轄補佐・プログラム企画・みなかみ事務所長 (地元・みなかみ町役場ならびに支援企業との連携窓口 古民家再生・活用、フットパス整備・活用、麗澤フィールドワーク など)				
幹事	浅川 潔	事務局長(企画・予算統括、総会、幹事会、草原サミット、麗澤中調整 (ほか))				
	稲 貴夫	情報宣伝・啓発(「茅風」編集長、東京楽習会、総会/セミナー)				
	岡田伊佐子	自然ふれあい学習、東京楽習会、総会/セミナー				
	西村大志	草原再生ネットワーク、草原サミット、麗澤中「樹木観察会」				
	増井太樹	事業総括(流域コモンズ・連携促進、生き物調べ、モニ1000、				
	松澤英喜	事務局長補佐(発信活動促進、会員管理、H/P・プログメンテ、 「茅風」編集、「総会」「幹事会」、助成事業 (ほか))				
	吉野一幸	地元代表(地元の活動参画促進、NPO奥利根ネットワーク、 まちおこし委員会、古民家活用・交流促進、古道フットパスの活用、 地域貢献プログラム)				
	米山正寛	コラボ/森林文化協会、発信活動拡充、流域コモンズ				
監事	林部良治	会計(年会費、経理統括)				
顧問	原 剛	安楽勝彦	笹岡達男	滑志田隆	清水英毅	高野史郎
オブザーバー/相談役	小林 勲	行政/みなかみ町役場窓口(エコ・パーク推進課)				
	林 親男	地元/「上ノ原運営協議会」窓口(藤原案内人クラブ)				
	川端英雄	アドバイザー				